

第5回 自由が丘駅周辺地区 交通バリアフリー推進懇談会 議事録

日時：平成 16 年 3 月 4 日（木）19:00～20:45

場所：自由が丘住区センター 2階 第1会議室

1. **開会あいさつ** 目黒区都市計画課 計画担当課長
2. **目黒区交通バリアフリー推進基本構想（案）に関する説明** 目黒区都市計画課
3. **自由が丘駅周辺地区 基本構想（案）について意見交換**

参加者からの意見 ・ 目黒区からの意見

東急コーチのバスについて、道路が狭い中で運行しており、駅前広場出口交差点付近（カトリア通り（都市計画道路 127 号線）とわかかさ通りの交差点）は危ない。景観面の改善も含めて小型車の導入をより一層の要望をしていって欲しい。

駅舎へのエレベーターの設置は、1基ずつでも良いから早く着工するように要望してほしい。

- ・ 平成 16 年度に計画検討を行い、平成 17 年度に工事に着工する予定である。スペースを確保しながら、1基ずつ工事すると聞いている。また、エレベーターの整備に併せて耐震工事も実施していくようである。

エレベーターの設置場所について、住民との意見交換の場や説明会の予定はあるのだろうか？

- ・ 本日提示したエレベーターの設置位置は、決定した図面ではない。今後検討していくことで理解して欲しい。

エレベーターの設置場所として、東横線ホームの渋谷寄りの場所は乗降客が多くて危険である。また、大井町線ホームのエレベーター設置箇所も、直接東横線ホームへアクセスできないため不便である。

エスカレーターの導入はないのか？

- ・ 東急電鉄からは、設置は困難だが、引き続き検討すると聞いている。

当初、交番脇にあるトイレの位置あたりにエレベーターを整備すると聞いていた。今日の計画図は異なるが、変更になったのか。

- ・ 本日提示したエレベーターの設置位置は、決定した図面ではない。今後検討していくことで理解して欲しい。

駅の南口側にもトイレがあると来街者にとって利便性がアップする。

- ・ 東急電鉄へはそのような要望があったことを伝える。

バリアフリー化を進めるため、東急電鉄からテナント契約の解除の申し入れがあった。バリアフリー法によって、そのような場合の補償は担保されているのか？また、整備にかかる費用はどこが負担する事になるのか。

- ・ バリアフリー法による補償は特に設けられていない。
- ・ エレベーター設置工事の費用については、予算に限りはあるが鉄道会社、国、東京都、目黒区で負担している。

エレベーター設置に伴う駅構内のテナント立ち退きの問題についても、行政で何らかの支援が必要なのではないか？

特定事業は平成 22 年度で完了するのではないのか？

- ・ 「平成 22 年度までの着手又は完成」を目途にしている。
- ・ 駐輪場の整備や鉄道立体化事業など事業によっては長期にわたることもある。

短期的に事業を終わらせる意気込みはあるのか？

- ・ 短期・長期に拘らず、今から取り組みを始めていかなければと考えている。
- ・ 整備メニューごとに事業者との調整も行ってきているため、構想に盛り込まれた特定事業は実現化が高いものと考えている。

地元住民や関係者に適宜、事業等の情報を提供して欲しい。

駅前で待ち合わせの人々が滞留しており、歩行者の妨げになっている。東急プラザ 1 階をこのような人々のために待ち合わせスペースとして開放してもらえないだろうか？エレベーターの設置工事が始まったら、スペースが取られ、尚更混むのではないか？

バリアフリー法による基本構想と都市整備との連携がとれていないように見受けられる。面的、総合的に捉えた整備や計画の進め方を考えていくことが、行政として重要なのではないか。TMO はそのような点を考慮して設立している。

- ・ 自由が丘駅周辺は、昼間人口が 2 万人を超え（夜間の 3 倍） 駅広も約 2,000 m²ある。現在、都市計画マスタープランを策定中で、この中でバリアフリーは 1 つの要素として盛り込んでおり、できる所から実施していくこととしている。

エレベーターの整備は駅整備の 1 つの段階と考えて良いか？

- ・ 連続立体交差事業に伴う全面改築で、駅舎自体の構造が決まれば、エレベーターについても再度見直し、整備をすることになるだろう。

ユニバーサルデザインに基づく総合案内とはどのようなものか？

- ・ 絵文字や音声案内等の手段を指しており、自由が丘だけでなく全区的に考えていく。

案内を検討する際には、自由が丘では特に外国人が多いことを考慮して欲しい。

ひのき通りの車道を狭めるプランなどはすぐに着手してもらいたい。

- ・ ひのき通りの件については、警察も地元の協力と理解が必要と言っているので、是非ご協力いただきたい。

関係者事業者間の会議をより一層開催して、情報交換を活発にすることで、できることから始めてもらいたい。

利用者のマナーの向上についても考慮していかないと、整備しても効果が薄いのではないか。

放置自転車や自転車による事故が増加している。講習会等が必要ではないか。

4. 閉会あいさつ 目黒区都市計画課 計画担当課長

以 上